20歳の再会に乾杯

平成20年度朝日町成人式
（4月29日；創遊館ほか）

特　　集／高めよう！　地域の力　町の力
町政スポット／春季消防演習　平成20年度区長紹介　ほか
カメラさんぽ／平成20年度朝日町成人式
まちの話題／朝日町さくら咲く木造校舎めぐり　太郎地区金比羅大権現祭礼　豊玉姫祭り　ほか

広報 あさひまち

2008年5月号
No. 618

【和合農村地域を守る会による花壇づくり　子供からお年寄りまで一体となり、地区を盛り上げている】

この３月に策定された「第５次朝日町総合発展計画」。その中で掲げている大きな柱の一つに「ともに考え、ともに築くまちづくり」があります。住民（地域）と行政（町）が信頼関係を築き、お互いの役割分担と連携のもと地域づくりを進めることが今後の地域経営にとって最も重要な事項と位置づけています。

それを具現化するあたり、このほど町職員２名を各地区に配置する「職員地域支援担当事業」がスタートしました。

※今回、ここで取り上げる「地域」とは、朝日町を形づくる「区」や「大字単位程度の○△地区」を指していきます。

特集◐高めよう！地域の力　町の力　その①

住民と行政が　ともに考え　ともに築く　朝日町をめざして

職員地域支援担当事業をスタート

改めて考える「地域」という存在

市町村とは小さな社会の集合体です。私たちが住む朝日町を考えてみても、祖先が長い年月をかけて、暮らしにあった場所に家を建て、その結果、隣組や集落が形づくられてきました。その後、地区が出来上がり、さらには、村から町へと枠組みが変化し、現在の朝日町となりました。

このように、**市町村の根幹は集落や地区**。このことから、**そういった小さな社会が元気であればあるほど、町全体も元気になる**ということになります。裏を返せば、町を活性化するためには、集落や地区を元気にすることが不可欠ということが言えると思います。

地域を取り巻く厳しい現状

地域づくりの原動力は地域に住む人々の熱い想い。朝日町においても、この事実に基づいた地域活動がこれまで行われてきました。しかしながら少子高齢化社会の進展に伴い、昨今の地域を取り巻く環境は以前と比べて激変。集落戸数の減少や高齢化に加え、職業の多様化等により、**多くの地域で地域コミュニティの力が衰えている傾向が見られます。**

とりわけ、朝日町においてこの事実は特に顕著。総人口に占める65歳以上の高齢者の割合を示す「高齢化率」において、朝日町は県全体で２番目に高い数値（33・7％／平成20年４月１日現在）となっており、**地区の祭礼や冠婚葬祭、農道や水路の維持管理といった地域活動が難しくなっている地域も出てきています。**

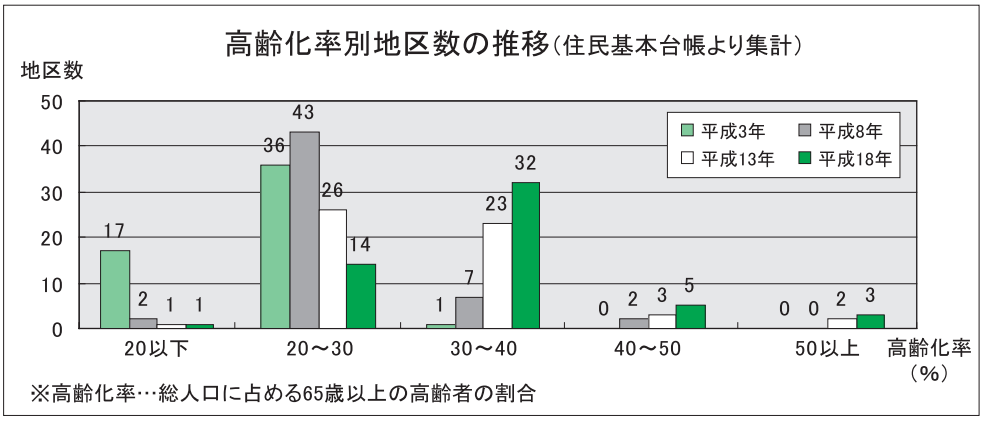
さらには、地域自体の維持そのものが難しくなりつつある区も出てきていて、現在は地域の力を高めることが急務となっています。

しかし、地域には様々な課題があり、必ずしも住民の力だけで解決できるものだけではありません。そこで今回、**町では「職員地域支援担当事業」を実施し、地域と行政が一体となって、各地域が抱える課題に取り組む**こととしました。詳しくは次のとおりです。

職員地域支援担当事業を実施します

Q　この制度の概要は？

A　町内55地区に町職員（一般行政職員）がそれぞれ2人ずつ入り、地域の課題解決の手助けを行う制度です。



Q　この制度の目的は？

A　一つは先ほど述べた「地域だけでは解決できない課題」について、地域住民と職員がともに考え、それにより、課題の解決をめざします。

もう一つは地域の実情に即した行政運営と地域づくりの支援。職員が地域に直接入ることにより、地域によって異なる実情を肌で感じることができます。そこで感じた内容を日々の職務に活かすことで、地域の実情に即した行政運営を展開することが期待されます。

Q　担当職員の具体的な役割を教えてください。

A　基本的には区長さんの相談役として、定期的に区長さんとコミュニケーションを図ることになります。

区長さんとの会話の中から行政の役割や課題解決の方法を見つけ出すことになりますが、初めての取り組みですので、いろいろな面で地域差が生じることもあるかもしれません。

Q　担当職員はどんな人を選定していますか。また、任期はあるのですか。

A　区内に職員がいる地区については、できるだけその職員を充てています。

また、高齢化率の高い地区については、課題も多いことが推測されるため、2人の職員のほか別途課長級職員が入ることになります。

任期については、原則的に3年としています。

何事にも「お互い様の心」を持って…

昔から何事においても自分ひとりでできないことは、他人と互いに助け合いながら課題を解決してきました。そんな中から「お互い様」という文化や、集落・隣組同士で助け合う慣習が育まれてきたものと思います。

こうした「助け合いの文化」の上にこの「職員地域支援担当事業」が存在しています。地域だけでは解決できないことがあったとき、地域支援担当職員を交えて話し合いをすることで、**住民と行政の間にしっかりとした信頼関係が生まれ**、課題解決につながることが期待されます。

この制度を十分に活用し、今後も積極的な地域づくりを進めていきましょう。

地域のやる気を積極支援！各種補助事業をご利用ください

■志藤六郎村おこし基金事業

栗木沢区出身で朝日町名誉町民の故志藤六郎氏が寄付した1億円を運用し、そこから生じる益金を元に、地域の活性化等を図る事業に対し補助を行う事業。平成5年の制度開始から平成19年度までの15年間で、71件の事業に対し、4526万円の資金が充てられている。

【近年の実績　※主に地域づくり活動分野を紹介】
- 高田地区蛍の里整備事業（高田区／H16年）
- 水の里看板整備事業（水本区／H19年）
- 沢内豊年太鼓整備事業（送橋太鼓衆／H19年）

■コミュニティ助成事業

財団法人自治総合センターが、宝くじの受託事業収入を財源として、地域で行なう事業または活動に必要な施設、設備の整備を助成する制度。事業メニューとして「一般コミュニティ助成事業」「緑化推進コミュニティ助成事業」などがある。

【近年の実績】
- 大谷第五区子供神輿、半纏（大谷第五区／H16年）
- 豊龍神輿（宮宿五区連合区／H19年）
- 春日沼周辺の桜、山もみじ（八ツ沼区／H19年）

■地域提案型交付金事業

地域の創意と工夫による「元気な地域づくり」をめざした自主的な住民自治活動を支援するため、平成19年度に創設。事業としては、自衛消防力の向上、区民による道路整備や環境美化活動、高齢者宅の除排雪、地域提案事業などがある。

【平成19年度の主な実績】
- 消火栓用ホースの配備（前田沢区ほか7地区）
- 区道整備（松程区ほか8地区）
- 町道整備（杉山区ほか5地区）
- 花いっぱい事業（栗木沢区ほか17地区）
- 高齢者宅の除排雪（大沼区ほか21地区）

杉山神明神社祭礼（5/4）

地区に古くから伝わる「杉山獅子舞（獅子頭：六郎基金でH10年に更新）」が毎年披露される神明神社祭礼。

お神楽は午後1時30分に同神社を出発した後、途中数ヵ所での舞と休憩を挟みながら、約３時間をかけて区内を練り歩きます。30戸あまりの戸数の杉山区。小さな地区ながら、獅子舞とお囃子に若者からお年寄りまで幅広い区民が参加し、地区の一体感が感じられるお祭りです。

栗木沢区村社祭礼（4/20）

栗木沢子供神輿（六郎基金でH12年に整備）と大谷第五区の子供神輿（コミュニティ助成事業でH16年に整備）が競演。

終盤、応援神輿として例年まつりを盛り上げる寒河江市の「日田東龍会」本神輿も加わり、例年以上の盛り上がりを見せてくれました。

特集◐高めよう！地域の力　町の力　その②

おらほの村の春まつり

送橋神明神社祭礼（4/20）

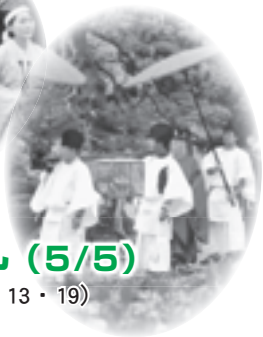
六郎基金で太鼓・半纏（はんてん）等を整備（H19）

４月から５月にかけて、町内いたるところで、それぞれの地区の「春まつり」が開催されました。

どの地区でも区の一大イベントとして開催されるお祭り。それを盛り立てるきらびやかな神輿や半纏（はんてん）の多くが「志藤六郎村おこし基金」や「コミュニティ(宝くじ)助成事業」を活用し整備されたものです。

新宿区薬師如来祭礼（5/11）

六郎基金で薬師如来の脇侍・十二神将を修理・保存（H５～７）



大沼浮島稲荷神社祭礼（5/5）

六郎基金で装束等を整備（H12・13・19）

昨年10月、コミュニティ(宝くじ)助成事業によって整備された「豊龍神輿」が５月２日の前夜祭に初お目見え。約100人の担ぎ手によりその勇壮な姿が披露されました。

翌３日には大獅子とお囃子隊などが約３時間をかけて宮宿地内を練り歩くほか、子供たちの宮神輿、樽神輿も同様に地区内を練り歩きます。

豊龍神社祭礼（5/2～3）

守ります！町民の生命と財産

春季消防演習

平成20年度の春季消防演習が4月27日、朝日中学校グラウンドを主会場に開催されました。地域のみなさんに安心した日々の生活を送っていただくため、日頃の練習の成果を披露する、町消防団の年に1回の祭典です。

総勢370人の団員を前に、高橋久仁彦新団長の訓示があり、その後一糸乱れぬ小隊訓練や、積載車、可搬ポンプ、自動車ポンプによる模範操法が披露されました。

その後場所を宮宿商店街に移し、かわいい法被（はっぴ）を身にまとったふたば保育園児による幼年消防クラブの放水訓練が行なわれました。

実火災を想定した火災防御訓練では、火災を告げる午後2時50分のサイレンの音と同時に、町内の全車両隊が出動。緊張感あふれる雰囲気の中、一斉に放水が始まると、沿道に詰めかけた町民からは、盛んな拍手が送られていました。

平成20年度体制

団　長	高　橋　久仁彦	(大　町)
副団長	佐　竹　亮　一	(松　程)
本部付分団長	浅　岡　清二郎	(西　町)
〃	長　岡　秀　典	(栄　町)
〃	長　岡　和　彦	(太郎一)
〃	長　岡　啓　一	(大谷一)
同　副分団長	安孫子　宏　栄	(前田沢)
	鈴　木　新　一	(常　盤)
第一分団長	長　岡　秀　昭	(前田沢)
同　副分団長	安　藤　克　幸	(松　原)
一の一部長	滝　川　芳　巳	(本　町)
一の二部長	佐　藤　欣　治	(前田沢)
一の三部長	白　田　隆　彦	(　平　)
一の四部長	岡　崎　　洋	(下芦沢)
一の五部長	佐　藤　　修	(大　滝)
第二分団長	阿　部　富士男	(八ツ沼)
同　副分団長	布　施　哲　也	(松　程)
二の一部長	相　座　裕　行	(太郎二)
二の二部長	阿　部　　歩	(松　程)
二の三部長	鈴　木　　勝	(西船渡)
二の四部長	斉　藤　　悟	(常　盤)
第三分団長	小　林　晴　雄	(大　沼)
同　副分団長	白　井　　充	(大谷六)
三の一部長	鈴　木　　仁	(大谷三)
三の二部長	阿　部　儀　幸	(大暮山)
三の三部長	遠　藤　直　裕	(舟　渡)
三の四部長	佐久間　　淳	(栗木沢)
役場消防部長(兼)	鈴　木　　勝	(西船渡)

町体育指導委員を紹介します

体育指導委員はスポーツの普及・振興等の活動を行っています。各地区で体力づくり活動を予定している場合などにぜひご相談ください。

新たに委嘱された深澤さん(左)と安藤さん(右)

【朝日町体育指導委員】

志藤靖則(能中)、**大竹史之**(大隅)、**鈴木直幸**(大谷五)、**阿部ひとみ**(松程)、**阿部勝彦**(西町)、**鈴木幸喜**(高田)、**堀幹樹**(大谷七)、**鈴木祐美**(助ノ巻)、**安藤早苗**(西町／新)、**深澤小百合**(助ノ巻／新)

町税徴収専門員を委嘱

税源移譲等により税金の滞納額が増えてきています。町では滞納額を縮減するため、税徴収業務を専門に行う町税徴収専門員として渡辺精一氏(大江町)を委嘱しました（4月16日付）。

渡辺精一氏

近隣市町の状況を確認すると、現在、西村山地域では大江町を除く一市3町で同様の業務を行う職員をすでに委嘱済みという状況。今後は電話や臨戸を通して徴収率向上に努めます。

今始まる 稔りの秋への挑戦

五月三日はとても天気が良く朝から汗ばむような天気でした。この日は宮宿地区にある豊龍神社の例大祭でした。祭りのシンボル「大獅子」が約三時間をかけて宮宿地内を練り歩いたほか、法被姿のかわいい子どもたちによる「宮みこし・樽みこし」も約二時間をかけて地区内を回りました。

神社参道の入り口交差点脇では、今年新たに「豊龍神社の豊玉姫祭り」が中央通り商店街の皆さん、そして地域の方々の協力により、「春の御田植え神事」として執り行われました。「豊龍神社門前町の再興！かつての賑わいを宮宿に！」をめざし、祝詞奏上から、宮宿小五年生女子三人による早乙女の御田植え神事、さらには玉ぐし奉奠、そして「豊玉姫豆」と「豊龍落雁」を復活して御護符として沿道に集まった約六〇人の人たちに振舞われました。

地域の方々による前向きな取組みが各地で動き出しています

この祭りは、今回の「御田植え神事」の後、実際に神社の近くに神田をお借りして稲作を行い、季節ごとに、夏には「風祭り神事」、秋には「収穫感謝祭神事」と年間を通し行われるとのことです。

豊玉姫は古くから東五百川村（宮宿）に伝わる農耕神として崇め称えられ、豊龍神社に祀られ、その門前町宮宿は豊龍の里として栄えてきました。今回その往時の賑わいを取り戻し、心豊かな活気ある町をめざして、豊玉姫祭りを行ったということです。

地域の方々の手により、地域の伝統に新しい考えも取り入れ、新たな活気を呼び入れようとする、こうした前向きな取り組み。これこそ今、地域づくり、まちづくりに求められている、最も大切な考え方、取り組み、そして姿勢であると思います。

そうした取り組みが、町内各地域において、今動き出しています。

朝日町長 鈴木浩幸

地域の要　平成20年度の区長さんを紹介

※世帯数は平成20年４月１日現在のその区内に存する法人や会社等を含む数であり、お知らせ板等の通常の発送数です。

※緑文字は新規区長さんです。

■中部地区【25区】

区名	氏名	世帯数
本町	鈴木敬二	86
西町	阿部勝男	114
栄町	武田光雄	66
助ノ巻	花山芳一	51
大町	鈴木昭一	162
元町	鈴木俊一	63
西原	阿部今朝夫	25
前田沢	村山正一	69
新宿	佐藤隆夫	65
四ノ沢	清野精一郎	60
小原	平雅之	42
宿	佐藤正太	35
沼向	鈴木勝昭	56
平	佐藤幸作	16
大隅	菅井博	32
古槙	清野忠市	26
送橋	相座龍志	36
下芦沢	佐竹清道	25
水本	高橋光一	23
杉山	藤沢盛治	30
松原	安藤紀久雄	34
宇津野	村山吉房	43
大滝	柴田昭義	23
雪谷	鈴木喜美夫	14
緑町	渡辺秀雄	44

■西部地区【16区】

区名	氏名	世帯数
常盤	阿部健一	98
夏草	阿部美喜雄	54
長沼	阿部悟	16
西船渡	鈴木千良	47
八ツ沼	海野榮一	42
能中	海野利昭	38
高田	佐竹啓次	15
太郎一	大高祐一	51
太郎二	長岡稔	40
太郎三	阿部保太郎	26
石須部	長岡誠雄	12
立木	古川征一	39
白倉	阿部馨	10
松程	阿部和夫	104
大船木	佐藤幸信	21
今平	阿部功一	14

■北部地区【14区】

区名	氏名	世帯数
大谷一	白田雄一	35
大谷二	白田甲子郎	38
大谷三	川村直美	39
大谷四	五十嵐政己	31
大谷五	原喜内	80
大谷六	白井淑浩	44
大谷七	堀敏男	13
中沢	堀文雄	40
真中	武田信一	38
舟渡	川村喜美雄	30
栗木沢	志藤正雄	90
川通	志藤信勝	18
大暮山	渋谷一俊	35
大沼	小林俊一	32

～町から自治功労等の表彰を受けられた退職区長の皆さん～

【敬称略】

■自治功労賞受賞者（６年以上在職）

佐竹庄吉（高田／10年）、**渡邉友吉**（白倉／８年）、**岡崎源吉**（下芦沢／６年）

■感謝状受賞者（６年未満在職）

鈴木俊一（助ノ巻／４年）、**布施寛**（大町／４年）、**鈴木博**（平／４年）、**海野正基**（西船渡／４年）、**佐竹正二**（八ツ沼／４年）、**畑俊美**（大谷二／４年）、**小野恒雄**（大谷七／４年）、**菅井勝良**（小原／２年）、**佐藤勝英**（宿／２年）、**渡邉吉助**（送橋／２年）、**土屋治男**（水本／２年）、**佐竹勝男**（宇津野／２年）、**阿部正敏**（今平／２年）、**堀義三郎**（舟渡／２年）、**阿部洋一**（栄町／１年）

祝成人 平成20年 朝日町成人式

Special One Piece ～かけがえのない存在～

カメラさんぽ 朝日町成人式

晴天に恵まれた４月29日、朝日町の成人式が創遊館ホールで開催されました。

今年晴れて成人を迎える人は、男性76人、女性63人の計139人。全体の約７割にあたる96人が出席しました。

式典では、実行委員会代表の大類淳子さん（西船渡）があいさつ。「朝日町を活気ある地域にしていくために、私たちの『若い力』を大いに役立てていきましょう」と決意の言葉を述べました。

まぶしいほどの衣装を身にまとった新成人たち。友人との久方ぶりの再会に胸を躍らせ写真を撮ったり、中学生の時にお世話になった先生方と当時のことを懐かしんだり様々。会場は、若さとパワーに満ちあふれていました。

20歳の再会をワインで祝う

～６年前に自ら収穫したブドウからワインを醸造～

今回新成人の皆さんに贈られたワインは、平成14年10月６日、当時朝日中３年生だった新成人の方々が、自らの手で収穫したブドウから作られたもの。成人式での再会を自らの手によるワインで祝おうという企画でした。

それから６年。じっくりと熟成された芳醇なワインが出来上がり、ワインの熟成と同様に、たくましく、そして美しく成長された新成人の皆さんに贈られました。

ラベルには中学生当時のそれぞれの写真が貼られていて、手にした人は皆、当時の思い出話に花を咲かせました。

お祭りを盛り上げる売店(新宿区)

まちの話題

豊龍杯剣道大会　おまけの1コマ

朝日町さくら咲く木造校舎めぐり

（４月27日／町内各所）

心なごむ木造校舎とさくら

４月27日、さくら咲く木造校舎めぐりが開催され、町内に残る４つの木造校舎を訪ね歩きました。

毎年８月大暮山分校で「白い紙ひこうき大会」を開催している同大会実行委員会(安藤竜二会長)が主催。遠くは仙台市からの参加者も含め、当初の定員20人を大きく上回る35人が参加しました。

一行は午前10時に創遊館を出発し、大船木分校（明治42年建築／平成11年閉校）→和合小学校（昭和２年建築／平成20年閉校）→三中分校（明治15年建築／平成８年閉校）→大暮山分校（大正３年建築／平成11年閉校）の行程で散策。校舎毎に地元地区民の方々が校舎の歴史を語りました。

このうち、最初に訪れた大船木分校では、同区の佐藤幸信区長が同校の歴史を解説。ピーク時の昭和20～30年代には70人ほどの児童が在籍していたことや当時の給食の思い出などを語りました。

参加者した若い女性の一人は「木造校舎を見るのははじめてですが、独特の味わいがあっていいですね。こんな素敵な校舎が町内にたくさん残っているのはすばらしいですね」と語りました。

今回訪れた４つの木造校舎のうち、大船木分校は平成20年度中の解体が決定されています。主催者の安藤さんは「今回訪れた木造校舎は、どれも建築から100年前後経過しています。そういった意味では、やさしい時間を過ごせる場所として、未来の観光資源にもなり得るのではないでしょうか。可能な限り残して欲しいものですね」と語っていました。

太郎地区金比羅大権現祭礼

（４月15日／太郎祥光院）

新たな祭りで地区を盛り上げる

４月15日、太郎祥光院に祀（まつ）られている金比羅大権現の祭礼が同院にて行われ、区民100人が参加しました。

金比羅大権現は四国地方から伝わったと言われ、五穀豊穣や商売繁盛の神として長い間地区民から慕われてきました。これまで同院の大般若の際一緒に行われてきたお祭りを区民みんなで祝おうと、太郎連合区が今年初めて企画。多くの区民の賛同を得、のぼり旗も整備し、この日盛大に開催されました。

発起人の一人である長岡孝治さん（太郎二）は「17歳でこの太郎地区を離れてから、都会で商売を営んできました。３年前、64歳のときＵターンで帰郷しましたが、それ以前もこちらに来る度にこの金比羅様を拝んできました。そのご利益もあってか、幸いこの年まで大病も無く過ごすことができました。これまでお世話になった金比羅様への感謝の意味も込めてみんなで楽しいお祭りにしたいですね」と語ってくれました。

豊玉姫まつり　～東五百川村に伝わる農耕神に商店街の賑わいを祈願～
（５月３日／宮宿地内本町十字路周辺）

早乙女３人による田植え神事

豊龍神社門前町を再興し宮宿にかつての賑わいを取り戻そうと、宮宿中央通り商店街（伊藤吉正会長）が主催する「豊玉姫まつり」が５月３日、本町十字路に隣接する広場で開催されました。

東五百川村（現在の宮宿）に古くから伝わる農耕神として、豊龍神社に祀られている豊玉姫。しかし、これまで一度も主だった祭りは行われてきませんでした。新たに誕生した祭りということもあってか、期待に胸をふくらませ会場に訪れた観客は約300人。可愛く着飾った早乙女３人による神聖な御田植え神事が執り行われたほか、縁起物の御護符として「豊玉姫豆」と「豊龍落雁」が振る舞われました。

春の例大祭として執り行われたこの度の「豊玉姫まつり」に続き、９月１日には「風神祭（収穫祈願祭）」、11月23日には「新嘗祭（収穫感謝祭）」が盛大に開催される予定です。

振る舞われた『豊玉姫豆』と『豊龍落雁』

第54回山形県縦断駅伝競走大会
（4月27日～29日／県内一円）

宮宿中継所を町選手でタスキリレー

春の出羽路に健脚を競う第54回山形県縦断駅伝競走大会が今年も４月27日から３日間の日程で開催され、町内から長岡輝喜（新宿）、安藤茂昭（松原）、鈴木智彦（杉山）、白田誠（大谷三）の４選手が出場しました。

中でも２日目の宮宿中継所では、朝日町民同士となる白田選手から長岡選手にタスキリレー。およそ10年ぶりの出来事に沿道は例年以上の盛り上がりを見せていました。

第6回山野草・ミニ盆栽展
（5月10日～11日／創遊館）

人生は草花に始まり草花に終わる

朝日盆栽園芸愛好会が主催する山野草・ミニ盆栽展が５月10日から２日間創遊館にて開催されました。

６回目を数えるこの展示会。今年は、昨年までの山野草を中心とした展示から、近年愛好者が増えている「ミニ盆栽」を多数揃え、会員12人余が出展しました。同会の長岡善一副会長（西町）は「人は生まれる時も亡くなる時も、花と一緒。そういった意味で草花は文字通り人生に花を添えるもの。これからも楽しく付き合っていきたい」と語ってくれました。

りんごの木オーナー制開園式
（5月11日／大谷・栗木沢各園地）

実りの秋に想いを馳せる

町特産のりんご（ふじ）を広くＰＲすることを目的に、りんごの木１本５万円で毎年オーナーを募集している「りんごの樹オーナー制」。12年目を迎える今年も60口（うち県外25口）の申込みがあり、５月11日に開園式と摘花作業が行われました。

白田富彦さん（大谷三）、志藤修治さん（栗木沢）、遠藤喜由さん（同）、遠藤克則さん（同）の４園地に分かれて作業を体験。このうち、志藤さんの園地で作業を行った佐藤さん（山形市）は「２回目から参加して、延べ10年以上になります。同じ作業でも、毎年出来ばえが異なり、自然の難しさを感じます。秋の収穫が楽しみです」と語ってくれました。

また、収穫だけでなく、りんごを使ったいろいろな料理も仲間同士で話題になり、春の１日を満喫していました。

みんなのひろば

今輝いて

4月から朝日町消防団の団長に就任
高橋久仁彦さん（大町）

今年4月1日より朝日町消防団の団長に就任した高橋久仁彦さん。去る4月27日に行われた「平成20年度朝日町消防団春季演習」にて総指揮者の大役を無事終え、一息つく間もなく「豊龍まつり」の準備に大忙し。家業の電器店を営む傍ら、いろんな場面で活躍されています。そんな中、消防に対する想いを語ってくれました。

高等学校を卒業後に朝日町を離れ上京。その後昭和55年にUターンし、「地元への貢献」という意味合いのほか、「仲間をつくるため」と町消防団へ入団したと言います。「（朝日町に）戻ってきた頃というのは、ちょうど青年団活動がなくなってきた辺りだったと思います。周囲の人と話をすると、みんな口をそろえるのはその楽しい思い出ばかり。そういった『みんなで一つの事に一生懸命に取り組む活動』への憧れもあったのかもしれません」と語ります。

これまで延べ28年にわたる消防団活動。その間、平成2年には第1分団第1部の先任班長として「全国消防操法大会」も経験。チームのまとめ役として、2年がかりで準備を進め、見事「操法タイム」で全国制覇を成し遂げたこともあります。

今年で53歳。異例の若さで団長に就任した高橋さんは「町民の命と財産を預かる職務の重さ、団員の安全の確保など、その職務に重責を感じています。現在の町の消防団員は370人ですが、10年前、20年前と比較すると、就業形態も大きく変化し、団員の確保も難しくなっています。しかし、一方では、地区ごとに自主防災組織の立ち上げも進むなど、以前には見られなかった新しい動きも進んでいます。今後も社会情勢に適応した消防・防災組織のあり方を積極的に模索していく必要があると思います」と付け加えて話してくれました。

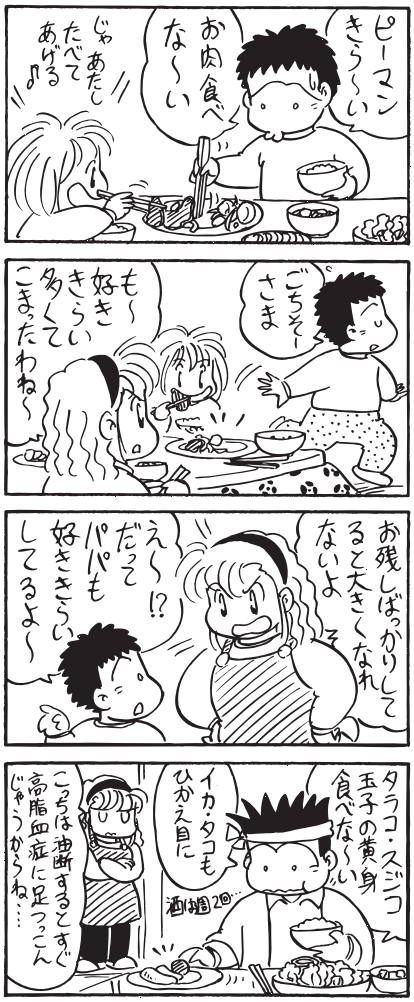
最後に、消防団員へのメッセージとして「先日の春季演習、および訓練ご苦労様でした。消防技術力を向上させることは、有事の際に自分自身の身を守ることにもつながります。今後も日頃の訓練をよろしくお願いします」と語ってくれました。

「消防を続けてきて良かった事は、仲間ができたこと。一番の財産です」と語る高橋さん。消防を通じて得た仲間達と共に、朝日町消防団を力強く牽引してくれることでしょう。

最近は地上デジタル放送関係のお仕事で多忙な毎日を送る高橋さん

となりのリンゴさん（191）

ホリィ



すてきな新婚さん

助ノ巻
冨樫　浩輝さん　千鶴さん

２年前の春からお付き合いが始まったという二人。もともと弟同士が友人で、お互いの家をよく行き来していたということもあり、出会った当初から話題が尽きなかったとか。

印象に残っているデートを尋ねたところ、顔を見合わせて語るのは最初のデート。浩輝さん自慢のバイクに二人乗りし、庄内浜へツーリングに出かけた日のこと。「朝迎えに行くと、彼女の目は真っ赤。すぐに二日酔いとわかりました。前日に友人の結婚式で深夜まで盛り上がったそうですが、ちょっと困惑しました」と語る浩輝さん。その後、何はともあれ出発し、月山道を走っていると、今度はだんだん浩輝さんへ寄りかかる千鶴さん。実はただ二日酔いの疲れから眠っていただけでしたが、何も知らずバイクを走らせていた浩輝さんは、そのぬくもりを背中に感じ、彼女をますます好きになったといいます。

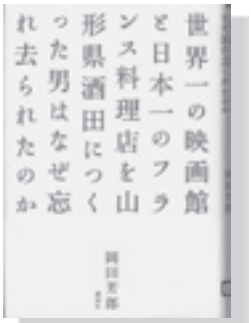
結婚の決め手となったのは、浩輝さんの長期研修。仕事の都合で、去年の６月から９月まで愛知県へ行くことに。しかし、「今思えばあの３ヶ月間が二人の距離を縮めたのかも」と話す千鶴さん。「会えない時間が、お互いを大切な存在と気づかせてくれました。研修から戻ってきた後は、毎日がプロポーズの連続だったんです(笑)」と付け加えてくれました。

「とにかく、笑いの絶えない明るい家庭が一番」と話すお二人。どうぞ末永くお幸せに。

町立図書館おすすめ 今月話題の本

「世界一の映画館と日本一のフランス料理店を山形県酒田につくった男はなぜ忘れ去られたのか」　岡田　芳郎　著

映画館の名は「グリーン・ハウス」。レストランの名は「ル・ポットフー」。日本海の港町、山形県酒田市で両方を経営し、命を燃やした伝説の男・佐藤久一の生涯を辿る。



「親の品格」　坂東　眞理子　著

小子化、核家族化、共働きでむずかしくなった親子関係のあり方を、66の例をあげて具体的に語る。著者の体験をもとに、いまの時代にふさわしい新しい考え方、振る舞い方を提案する。「女性の品格」の続編。

■郷土出版コーナー

歌集　蜂と花びら　上下／安藤　チヨ

【その他の新書】

▼沈黙のアイドル／赤川次郎　▼あなたの余命教えます／幸田真音　▼そろそろ旅に／松井今朝子　▼論理と感性は相反しない／山崎ナオコーラ　▼雲の都第３部城砦／加賀乙彦▼菜種晴れ／山本一力　▼神の名前〔王国記７〕／花村萬月　▼美貌と処世／林真理子　▼みにくいあひる／谷村志穂　▼学校裏サイト-ケータイ無法地帯から子どもを救う方法ー／下田博次　▼風花／川上弘美　▼日と月と刀　上下／丸山健二　▼Xwpα（ホーラ）ー死都ー／篠田節子　▼母が重くてたまらない／信田さよ子　▼名前探しの放課後　上下／辻村深月　▼篤姫／原口泉　▼産める国フランスの子育て事情／牧陽子　▼季節を楽しむ大人きものコーディネート／石田節子　▼ミノタウロス／佐藤亜紀　▼気づきの力ー生き方を変え、国を変えるー柳田邦男　▼／偽装管理職／東京管理職ユニオン　▼ターシャの庭づくりターシャの家／ターシャ・テューダー

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題
日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

■あて先／〒990－1442　朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
（電話：67－2112　ﾌｧｯｸｽ：67－2117）
■Ｅ メ ー ル／inform@town.asahi.yamagata.jp
■Ｕ　Ｒ　Ｌ／http://www.town.asahi.yamagata.jp
■携帯サイト／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

野焼きで迷惑しています。何とかして！

問　朝日町に住む若い世代としてお願いがあります。都市部にはあり、朝日町に無いものについては仕方がありませんので（不便ではあっても）がまんします。しかし、都市部では常識とされていることが、田舎なので何も言えず我慢しなければならないことがあるなら、いくらハード面が整備されていても、若い世代にとっては住みにくい町になります。

例えば、住宅団地の近くの畑にゴミを持ってきて燃やしている人がいます。その結果、黒いススが住宅地に飛んできて、洗濯物についたり、外に置いている物が黒くなったり、煙で暑くても窓を開けられなかったりして、住民は大変迷惑しています。

田舎には都市部にはない自然環境があり、それが何よりの強み（良さ）だと思います。ゴミ袋の値段が上がったせいもあるのかもしれませんが、本当に残念です。その点でどうか町長の力をお貸しください。

【無記名】

答　澄み切った空気は、誰しもが望むものであり、空気のきれいな場所を求めて移住された方の話なども最近ではよく耳にすると思います。

さて、今回のおハガキの件についてですが、現在は、もちろん原則的にゴミの焼却（野焼き）は禁止されています。しかし、果樹等の選定枝の処理については、当町は果樹生産農家が多いこともあり、焼却処分をやむなしとしているところです。その処理の際には人家に影響がない農地での焼却を指導していますが、万が一このことが原因で町民の方にご迷惑をおかけしているとすれば、当然改善の必要があるものです。

町としては、野焼きの禁止について、年に3～4回程度お知らせ板で周知しているところですが、こういった事実があれば、当事者に対しその都度指導しているところです。ただし、場所や人物が特定できない限り、そういった指導もできませんので、ご近所で野焼きをしている方を見かけた際は、随時情報の提供をお願いいたします。

【税務町民課生活環境係／☎67－2107】

各種大会の成績

（　）内の数字は参加チーム数、○数字は順位

13年ぶりに朝日中女子が優勝

■第30回朝日町長杯争奪剣道錬成大会
（４月29日／朝日町民体育館、朝日中体育館）

▼小学校低学年の部（18）…４年生未満
①富岡町少年剣道団（福島県）②宮宿剣道スポ少
③大谷剣道スポ少③舞鶴剣道（天童市）

▼小学校高学年の部（53）…５年生以上
①鈴川Ａ（山形市）②ましみず剣童会（天童市）

▼中学校男子の部（64）
①遊佐中学校（遊佐町）②山形第四中（山形市）

▼中学校女子の部（40）
①朝日中学校②遊佐中学校（遊佐町）

表彰を受ける朝日中女子の選手たち

約20年ぶりの野試合

■平成20年度豊龍神社奉納剣道錬成大会
（５月２日／豊龍神社境内／参加者10人）
①冨樫春優（助ノ巻）
②佐藤亜美（新宿）
③阿部真琴（八ツ沼）
③古川哲兵（立木）

■第25回豊龍神社祭典奉納柔道大会
（５月３日／朝日町民体育館）

▼小学生の部（13）
①高橋道場（山形市）

▼中学校男子の部（16）
①高橋道場（山形市）

▼中学校女子の部（５）
①戸沢中学校（戸沢村）

戸籍のまど

平成20年(2008年)
■4月1日～4月30日届出

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
下芦沢	岡崎 兼斗（けんと）	男	兼太郎・千春
大谷七	堀 直太朗（なおたろう）	男	幹樹・洋子
大町	川村 永来（えいら）	女	直人・佳南子
大谷三	長岡 花（はな）	女	孝博・寛子
栗木沢	岸 華帆（かほ）	女	道雄・香織

おしあわせに

成原 亮（栄町）	佐藤 恵（天童市）
佐竹大樹（宇津野）	清野充子（四ノ沢）
熊谷知則（新宿）	小関葉子（山辺町）

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大暮山	阿部 儀右衛門	儀幸
西町	橋間 喜代子	友則
松程	向 文江	秀哉
本町	安藤 清藏	一夫
杉山	安藤 まつゑ	善徳
ふれあい荘	樋口 はるみ	本人
明鏡荘	大熊 弥之助	本人
大谷二	佐々木 昭	定子
前田沢	志藤 武一	武男
前田沢	布施 二男	奨
新宿	今井 貞雄	博寿
西町	渡辺 すえ	久喜
常盤	阿部 まさ	捷一
元町	鈴木 てる	和幸
長沼	松田 正藏	英二
松程	佐竹 広美	和美
大町	生亀 誠藏	かつ江
明鏡荘	細谷 つゑ子	ちよ

人口と世帯数

●平成20年４月30日現在

人口	8,450人（減22人）
男	4,174人（減12人）
女	4,276人（減10人）
世帯数	2,533戸（増５戸）

（　）内 前月比

マーティ先生の朝日町見聞録

マーティ先生が日々の生活の中で感じたことを自由に表現します。（文章も本人）

蛙の声。青空。
These are a few of my favorite things.

朝日町に引越しが決まった時から、周りの人から「朝日の自然はすばらしい」と聞いていました。僕の出身も自然がいっぱいです。子供の時によく山で遊んだり、夜の散歩をしたりと、遊びはいつも外でした。出身のコロラドは、山は近くにはあるけれど、車で一時間のところでした。

朝日町に来たときは、「うあ～、ここは山が近くて自然がいっぱい」と思いました。アパートに荷物を入れ、アパートのベランダから外の景色を見たとき、爽やかな感じがしました。中学校の職員室の窓から見る景色が変わっていくのが感じられました。夏から秋になった時、中学校から帰る途中の景色は物凄く綺麗でした。秋から冬になった時は、だんだん雪が積もってきました。この大量の雪は、人生の中で初めての経験でした。

そして今の季節、春になって蛙の声が聞こえ始めました。時々、夜の散歩に行くと、私は自然と一体化しているような感じになります。（でも、虫は絶対に嫌だ）空気が澄んでいるので、夜の星がとても綺麗に見えます。時々吹く風は、朝日の空気を一気に新鮮な空気に換えてくれているような、そんな気がします。先日、自転車に乗って、桜の下をツーリングしました。桜の下から見上げた時の青空が素晴らしかったです。（天国はまだ行ったことはないけれど、きっと朝日町のようかな?）

朝日町に来られたこと、そしてこの自然に出会えたことはとてもラッキーなこと。ここでの生活は、これまでの人生の中で一番平和な時だと思っています。自然、地球の事をより考えさせられ、もっとこの自然を守りたいと思い始めました。これからの生活も楽しみにしているところです。

Thanks for all the wonderful nature, wonderful smiles and fantastic times you have shown me!! I'm looking forward to spending some more time in Asahi!!

■広報あさひまち　第618号　平成20年5月15日発行　■発行 山形県朝日町　■編集 朝日町広報委員会/山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷 寒河江印刷株式会社

季節の植物

紹介していただいた方

阿部 代志一（よしいち） さん
（大暮山）

今から３年前、孫の小学校入学記念にと白鷹町高玉の金田聖夫（さとお）さんから譲っていただき、大暮山地内のりんご畑に植樹しました。

緑色のサクラということで、どんな花をつけるのか楽しみでしたが、実際見てみるとその独特の色合いに正直びっくり。最初は葉と同色で素っ気無い感じもしましたが、日にちがたつにつれ、中心部がピンクに変化すると、それがいいアクセントとなり、最近では見れば見るほど愛着がわく木となりました。

今後とも孫の記念樹として大切に育てていきたいと思います。

緑色のサクラ「御衣黄（ぎょいこう）」

サクラの栽培品種。緑色の花を咲かせる唯一のサクラ。開花時期はソメイヨシノより遅めで、写真は５月７日に撮影したもの。

開花時には目立たないが、中心部には紅色の条線があり、次第に中心部から赤みが増してきて散る頃にはかなり赤くなる。

春夏秋冬 編集後記

この1ヵ月間、いろいろな地区のお祭りにお伺いしました。お神楽あり、御神輿あり、太鼓あり。地域（区）によって異なるいろいろな春祭りを楽しませていただきました。

その中では「豊玉姫まつり」「太郎金比羅大権現祭礼」など今年から始まった新しい取組みもありました。また、送橋神明神社祭礼では「同こぶし太鼓」が新しく披露されたり、栗木沢村社祭礼には、応援神輿として大谷第五区の子供神輿がはじめて参加するなど、各地域ともにお祭りを盛り上げようと、様々な工夫を行っています。

新しい物事を起こすのは大変なこと。「不可能」「困難」「無意味」等マイナス思考になればできないことだらけ。その中で自分たちの住む地域を想い、新しい試みに挑戦している皆さん。そのがんばりに対してエールを送るとともに、広報あさひまちではそういった方々を今後も積極的に応援したいと思います。

（サック）